

調 査 票

調査票

道 民 意 識 調 査

— ご協力をお願い —

日頃より道政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
北海道では、道民の方々の意向や意識を的確に把握し、その内容を道政における企画・立案や施策形成に反映させることを目的として、毎年度、「道民意識調査」を実施しております。
調査対象者の選定にあたりましては、道内にお住まいの18歳以上の方1,500名を無作為に選ばせていただきました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成29年7月

北海道知事 高橋 はるみ

- **必ずご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。**ただし、ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意見などを代理の方がご記入されてもかまいません。
- この調査票に記入された内容については、調査の目的以外に使用することはありません。
- この調査の**回答は無記名**でお願いしています。集計後の調査票は、責任をもって廃棄処分しますので、個人の秘密は守られ、ご迷惑がかかることはありません。
- 回答は、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの**番号に○印を付けてください。**
- 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、その場合は、矢印や説明に沿ってお答えください。
- これまでに実施した調査の結果は、北海道のホームページでご覧いただけます。
※インターネット検索で、「道民意識調査」とご検索ください。

この調査票に、全ての回答を記載し
同封の返信用封筒（切手不要）に入れ
8月24日（木）までに郵便ポストに投函願います。

※ 返信用封筒のあて先は、北海道が調査を委託した昇寿チャート株式会社となっています。

《 問い合わせ先 》 北海道 総合政策部 知事室 広報広聴課 調整グループ
住所：〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
電話：011-231-4111（内線21-363）

1 北海道の交通ネットワークについて

道の交通政策の参考とするため、皆様のご意見をおたずねします。

問1 あなたが普段の生活（通勤・通学・通院・買物等）で利用している主な移動手段は何ですか。
また、その移動手段の利用環境に満足されていますか。「無積雪期(夏季等)」と「積雪期(冬季等)」について、それぞれ外出目的ごとにお答えください。

① 主な移動手段

下記のA～Jから1つだけ選び、「①主な移動手段」の欄のアルファベットを○で囲んでください。(○は1つ)

A 自家用車 B 自転車（含バイク） C 鉄道 D バス E 地下鉄
F 路面電車 G タクシー、ハイヤー H コミュニティバス、乗合タクシー I 徒歩
J その他

② 満足度

満足・普通・不満のいずれかを○で囲み、「不満」の場合のみ、その理由をお答えください。

(○は1つ)

【無積雪期（夏季等）】

外出目的	① 主な移動手段	② 満足度
通勤・通学時	A B C D E	満足 普通
	F G H I J	不満（不満の理由）
通院時	A B C D E	満足 普通
	F G H I J	不満（不満の理由）
買物時	A B C D E	満足 普通
	F G H I J	不満（不満の理由）
その他私用の外出時	A B C D E	満足 普通
	F G H I J	不満（不満の理由）

【積雪期（冬季等）】

外出目的	② 主な移動手段	③ 満足度
通勤・通学時	A B C D E	満足 普通
	F G H I J	不満（不満の理由）
通院時	A B C D E	満足 普通
	F G H I J	不満（不満の理由）
買物時	A B C D E	満足 普通
	F G H I J	不満（不満の理由）
その他私用の外出時	A B C D E	満足 普通
	F G H I J	不満（不満の理由）

問2 あなたは、鉄道やバス等の公共交通機関について、どのような改善を望みますか。
また、公共交通機関を普段利用しない方は、どのような改善がなされれば利用しますか。
次の中から3つまでお選びください。(○は3つ以内)

- 1 決められた時刻に必ず発着すること
- 2 運賃が安くなること
- 3 運行の頻度や時間帯が増えること
- 4 駅や車両等の段差が減るなど乗り降りしやすい環境になること
- 5 自宅や目的地の近くにバス停や駅ができること (徒歩 分以内)
- 6 最寄りの駅などに駐車場や駐輪場が整備されること
- 7 交通事業者の接客マナーが改善されること
- 8 どのように改善されても公共交通機関は利用しない
- 9 その他 (具体的に:)

問3 あなたが今の住み慣れた地域で今後も生活するために重要な要素は何ですか。
次の中から3つまでお選びください。(○は3つ以内)

- 1 地域医療の確保
- 2 高齢者や障がいのある方が安心して生活できる環境の充実
- 3 食料品などの日々の買い物環境の充実
- 4 教育環境の充実
- 5 子育て環境の充実
- 6 雇用環境の充実
- 7 鉄道やバスなど、地域の公共交通の充実
- 8 都市間や日常生活に必要な道路など交通基盤の充実
- 9 その他 (具体的に:)

問4 2030年度に北海道新幹線の札幌開業が予定されておりますが、北海道が現在よりも住みやすく
また、経済活動が発展するために優先されるべき交通に関する取組は何ですか。
次の中から3つまでお選びください。(○は3つ以内)

- 1 北海道新幹線の札幌までの早期開業や高速化
- 2 鉄道やバスなどの地域公共交通の維持・確保
- 3 駅や空港などにおける交通機関の乗り継ぎの改善
- 4 高速道路 (自動車専用道路) や幹線道路の整備
- 5 新千歳空港や道内地方空港の機能強化・整備
- 6 国内航空路線や道内の地域間を結ぶ航空路線の充実
- 7 国際航空路線の充実
- 8 フェリー、コンテナ航路等の充実
- 9 港湾の機能強化
- 10 その他 (具体的に:)

2 犯罪のない安全で安心な地域づくりについて

皆さんが不安を感じる様々な犯罪に対する意識や防犯対策、自分たちが生活している地域での自主防犯活動などについて、皆さんのご意見をおたずねします。

問5 あなたは、犯罪被害に遭うのではないかと不安を感じることがありますか。

次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- | | |
|---------|----------|
| 1 よくある | 3 ほとんどない |
| 2 たまにある | 4 全くない |

※ 「問5」で選択肢「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。

問6 あなたが不安を感じる要因について、次の中からいくつでもお選びください。

(○は複数可)

- 1 身近なところで事件が起きているから
- 2 街灯の設置がないため(または設置数が少ないため)、夜の外出が不安だから
- 3 生活エリア内に防犯カメラがないから (または設置数が少ないから)
- 4 テレビや新聞などで事件がよく取り上げられているから
- 5 地域のつながりが弱く、近所の住民の顔をほとんど知らないから
- 6 わからない
- 7 その他(具体的に: _____)

問7 あなたが不安を感じる犯罪について、次の中からいくつでもお選びください。

(○は複数可)

- 1 殺人、放火などの凶悪犯罪
- 2 暴行、傷害などの身体的犯罪
- 3 ひったくりや路上強盗
- 4 空き巣などの侵入犯罪
- 5 車、オートバイ、自転車などの乗り物盗難
- 6 車上ねらい
- 7 子どもの連れ去りやいたずら
- 8 性的なわいせつ犯罪
- 9 ストーカー、DV 犯罪 (配偶者からの暴力による犯罪)
- 10 インターネットを利用した犯罪
- 11 振り込め詐欺や悪質商法等の人をだます犯罪
- 12 少年による犯罪
- 13 わからない
- 14 その他(具体的に: _____)

問8 あなたは、地域を犯罪被害から守るために、どのような団体での活動に参加していますか。
(過去に参加していたでも可)。

次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 町内会
- 2 防犯協会
- 3 防犯を目的とした協議会等(自治体・警察、その他業界団体等で構成されているもの)
- 4 学校・PTA
- 5 職場
- 6 防犯パトロール隊(上記選択肢1～5以外のもの)

7 団体での活動に参加していない(または参加したことがない)

8 その他(具体的に:)

※ 「問8」で選択肢「7」を選んだ方のみお答えください。

問9 あなたが、地域を犯罪被害から守るため、団体での活動に参加していない(または参加したことがない)理由について、次の中から1つだけお選びください。

(○は1つ)

- 1 参加したいが地域で活動している団体を知らない
- 2 参加したいが活動団体の窓口が分からない
- 3 参加したいが仕事をしているため時間がとれない
- 4 参加したいが子育てや介護等のため時間がない
- 5 参加する気持ちがない
- 6 その他(具体的に:)

問 10 あなたは、地域を犯罪被害から守るために、どのような活動や対策が必要だと思えますか。
次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

1 街灯等の設置	2 防犯カメラの設置
3 犯罪被害に強い錠やガラス等の設置	4 犯罪情勢や防犯対策に関する情報提供
5 防犯講習会・研修会の開催	6 防犯を目的とした街頭啓発
7 防犯リーフレット等の配布	8 防犯パトロール
9 防犯ボランティアリーダー等の人材育成	10 登下校時の児童の見守り活動
11 隣近所との見守り、声掛け	12 落書き消しなどの環境美化
13 違法駐車排除	14 交番の増設や警察官によるパトロール強化
15 特にない	
16 その他	具体的に：

問 11 あなたは、犯罪被害者支援について、地方公共団体（道、道警、市町村等）が果たすべき役割は何だと思えますか。

次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

1 支援を推進するための条例制定	
2 弁護士会や民間支援団体など外部団体との連携強化	
3 死傷者多数の事件事故発生時における迅速な支援	
4 裁判などに関する手続についての法律相談	
5 家事、育児、介護など生活面の支援	
6 悩み事等の相談	
7 見舞金などの経済的支援	
8 民間支援団体等の紹介	
9 民間支援団体の活動の支援	
10 支援ボランティアの養成	
11 犯罪被害者支援の気運を高めるための広報	
12 その他	具体的に：

3 地球温暖化問題について

昨年8月の相次ぐ台風の上陸や豪雨など、北海道においても、これまで経験したことのない異常気象が度々観測されており、これらは、地球温暖化による気候変動の影響とも指摘されています。道では、2010年に策定した「北海道地球温暖化対策推進計画」に基づき、温暖化対策を進めていますが、今後の取組の検討や、計画の見直しの参考にするため、皆様のご意見をおたずねします。

問12 あなたは、どの様なときに地球温暖化による影響と感じますか。
次の中から、いくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 集中豪雨や猛暑など、異常気象を体験したときや、被害発生などの報道に触れたとき
- 2 農作物の品質や収量、栽培物の変化を感じたとき
- 3 水産物の品質や収量、漁獲物の変化を感じたとき
- 4 野生生物の生息域の変化など生態系への影響を感じたとき
- 5 熱中症の増加や感染症の拡大など人の健康への影響を感じたとき
- 6 地球温暖化の影響を感じることはない
- 7 その他 (具体的に：)

問13 地球温暖化は異常気象による災害や食料の生産、健康への影響など、私たちの日常生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。

こうした影響に対応していくため、あなたは、どの様な対策や取組が必要とお考えになりますか。

次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 科学的なデータの充実と将来予測
- 2 温暖化情報の共有と提供を通じた理解の促進
- 3 ハザードマップや避難計画の作成など防災・減災対策
- 4 自然災害に備える社会インフラの強化
- 5 高温に耐える農作物の開発や普及
- 6 熱中症の予防・対処法の啓発
- 7 地球温暖化対策に資する技術開発や関連産業の創出
- 8 その他 (具体的に：)

問 14 あなたが日常生活の中で、地球温暖化防止に向けて取り組んでいる内容や、これから取り組みたいと思っていることについて、次の中からいくつでもお選びください。

(○は複数可)

<家庭での取組>

- 1 こまめな消灯やクールビズなど、身近にできる省エネ・節電の取組
- 2 照明をLEDに取り換えるなど省エネ機器・家電への買い換え
- 3 省エネリフォームや省エネ住宅の購入など住宅対策
- 4 太陽光パネルやペレットストーブなど再生可能エネルギーの利用
- 5 その他 (具体的に：)

<自動車の運転や利用での取組>

- 6 省エネに配慮した運転 (エコドライブ)
- 7 燃費の良いエコカーへの買い換え
- 8 できるだけ車の利用を控え、公共交通機関や自転車を利用
- 9 カーシェアリングへの参加
- 10 その他 (具体的に：)

問 15 地球温暖化対策を進めるためには、私たちの意識やライフスタイルを変えていく必要がありますが、そのために、あなたが必要と思われることを、次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 学校での環境教育に地球温暖化問題を取り上げ、子供の時から将来の地球環境に関心を持つこと
- 2 地球温暖化による影響について、地域におけるセミナーやフォーラムの開催を通じて、多くの道民が学習する機会を増やすこと
- 3 地域での会合などに、道職員や地球温暖化に詳しい専門家を派遣する出前講座の充実
- 4 多くの二酸化炭素を排出している企業において、意識的に排出削減に取り組む社員への環境教育
- 5 地球温暖化問題を広く啓発するため、専門家などの人材育成やそれを活用する制度の充実
- 6 その他 (具体的に：)

4 エネルギーに関する意識について

私たちの暮らしや地域の産業に欠かせないエネルギーは、環境にやさしく、できるだけ安い価格で、安全に安定して利用できるようにすることが大切です。また、バイオマスや雪氷冷熱といった身近な資源を活用していくことも重要です。

道では、再生可能エネルギーの導入を加速するために、今年度、新たな基金をつくり、地域や事業者が行う取組を支援することとしています。

今後の施策検討に役立てるため、エネルギーに関し、皆様のご意見をおたずねします。

問 16 積雪寒冷で広大な面積を有する北海道は、暖房や自動車利用によるエネルギー使用量が多いといった課題がありますが、あなたは、こうした北海道の課題を踏まえて、今後、地球温暖化対策を進めていくにあたって、どのような取組を進めるべきとお考えですか。

次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 温暖化防止や再生可能エネルギーに関する環境教育、省エネ行動の普及啓発を進める
- 2 省エネ機器や太陽光パネルの設置、省エネリフォームを進める
- 3 二酸化炭素の排出量が少ないエネルギーを利用する
- 4 工場や発電所等において化石燃料を効率的に利用する
- 5 二酸化炭素を地中に封じ込める CCS※など、温暖化防止に向けた新しい技術の開発を進める
- 6 森林整備など二酸化炭素吸収の取組を進める

※CCS とは、発電所や工場から排出される二酸化炭素を分離・回収し、地中に圧入して長期間にわたって貯留する技術です。

問 17 あなたは、我が国のエネルギーのあり方について、どのようにすべきとお考えですか。

次の中から一番近いものを1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 各エネルギーのバランスを考えて、再生可能エネルギー、原子力、火力ともに一定程度を維持するが、原子力については、将来的にはその割合を増やすべきだ
- 2 我が国のエネルギー情勢を踏まえた見通しのもと、再生可能エネルギー、原子力、火力の各エネルギーをバランスよく組み合わせ、原発依存度については可能な限り低減させるべきだ
- 3 再生可能エネルギーを更に拡大し、火力など原子力以外のエネルギーと組み合わせることで、原子力については、徐々に減らし、将来的になくすべきだ
- 4 原子力については、すぐにでもなくすべきだ
- 5 わからない

問 18 道では、道内に豊富に存在する再生可能エネルギーの導入拡大を進めていますが、あなたは、北海道において、今後、重点的に導入拡大を進めるべき再生可能エネルギーは何だと思えますか。

次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 太陽光
- 2 風力
- 3 水力
- 4 バイオマス
- 5 地熱
- 6 雪氷冷熱

問 19 国は再生可能エネルギーを利用した発電について、その普及を進めるため、導入費用の一部を「再生可能エネルギー賦課金」として、電気料金とともに広く国民から集める仕組みを作っています※。

再生可能エネルギーの普及と国民負担について、あなたはどうお考えですか。

次の中から一番近いものを1つだけお選びください。(○は1つ)

※この制度の対象となっている再生可能エネルギーは、太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスです。

- 1 再生可能エネルギーは、国民が追加的費用を負担してでも導入拡大していくべきだ
- 2 再生可能エネルギーは、国民の追加的負担がない形で導入拡大していくべきだ
- 3 再生可能エネルギーは導入拡大すべきではない
- 4 わからない

問 20 北海道電力は、平成 25 年 9 月と平成 26 年 11 月の 2 度にわたり電気料金の値上げを行いました。影響はありましたか。

次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 影響は大いにある
- 2 多少影響はある
- 3 ほとんど影響はない
- 4 わからない

問 21 道内では、再生可能エネルギーの導入を加速する方策として、バイオマスや雪氷冷熱など地域に豊富に存在するエネルギー資源を、その地域で活用し消費する「エネルギーの地産地消」の取組が進められています。

あなたは、この取組についてどうお考えですか。

次の中から一番近いものを1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 「エネルギーの地産地消」の取組は、再生可能エネルギーの導入拡大はもとより、関連設備の導入などを通じて、地域経済の活性化、地域振興などへの波及効果が期待できることから、更に加速して進めていくべきだ
- 2 「エネルギーの地産地消」の取組は、利用するエネルギーのコストや使いやすさなどにも配慮しながら、時間をかけて進めていくべきだ
- 3 「エネルギーの地産地消」の取組は、従来の「大規模・集中型エネルギー」に比べて、コストが高くなる懸念があることから、進めるべきではない
- 4 わからない

問 22 道では今年度、エネルギーの地産地消の取組への支援等を通じて、再生可能エネルギーの導入等の加速化を図るための基金を設置し、様々な支援策を展開することとしています。

再生可能エネルギーの導入拡大に向け、道はどのような支援をすべきとお考えですか。

次の中から2つまでお選びください。(○は2つ以内)

- 1 設備に対する補助金など財政的な支援
- 2 専門家派遣・育成など人的な支援
- 3 規制緩和など制度的な支援
- 4 セミナー開催などの普及啓発
- 5 道は原則として支援すべきでない

5 障がい者の差別の解消の推進について

平成28年4月に、障害者差別解消法が施行されています。
障がいのある方々の地域生活を支えていくため、今後の差別・虐待防止に向けた支援や取組について、皆様のご意見をおたずねします。

問23 あなたと障がいのある方との関係について教えてください。

次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 身体障がいのある本人
- 2 知的障がいのある本人
- 3 精神障がいのある本人
- 4 発達障がいのある本人
- 5 難病をもつ本人
- 6 家族
- 7 友人
- 8 福祉関係者
- 9 教員として関わりがある方
- 10 教員以外の行政職員として関わりがある方
- 11 その他の関わりがある方
- 12 障がいのある方と関わりがない方

問24 あなたは障がいのある方に対する差別を見聞き（経験）したことはありますか。

次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 これまでも見聞き（経験）したことはなく、今もない
- 2 これまでは見聞き（経験）したことがあったが、今はない
- 3 これまでも見聞き（経験）したことはあり、今もある

問25 平成28年4月1日に施行された障害者差別解消法を知っていますか。

次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 名前は知っているが、内容は知らない
- 2 名前も内容も知っている
- 3 名前も内容も知らない

問 26 障害者差別解消法が施行されて、あなたの生活や仕事に何か変化を感じますか。
次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

1	障がいのある方に対する差別的な発言を聞く場面が減った	
2	会社などで障がいのある方への配慮について話合う機会が増えた	
3	障がい者優先トイレやスロープなどによりバリアフリーに配慮した施設が増えた	
4	代筆で対応できる窓口が増えた	
5	車椅子を利用される方に対し、援助する場面を目撃する機会が増えた	
6	ルビを振ってある資料を目にする機会が増えた	
7	その他	（具体的に：）
8	変化を感じない	

問 27 今後、この法律をより多くの人に知ってもらうために、どのような取組があると良いと思いますか。
次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

1	テレビ、新聞などのメディアでの広告の掲載	
2	ポスター、パンフレットなどの設置、配布	
3	フォーラムなど普及啓発イベントの開催	
4	法律に関するセミナー、研修会の実施	
5	ホームページへの掲載	
6	学校で教える	
7	その他	（具体的に：）

6 家庭及び地域の教育力について

社会が急激に変化する中、関係機関が連携して、地域全体で子どもたちを守り育てていくためには、学校や地域など社会の幅広い教育機能を活性化していくことが、大変重要になります。

道の家庭教育への支援や地域の教育力向上に向けた施策の参考にするため、家庭や地域の教育力について、皆さんのご意見をおたずねします。

問 28 あなたは、家庭の教育力が低下していると思いますか。

次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 全くそのとおりだと思う
- 2 ある程度そう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 全くそう思わない
- 5 わからない

※ 問 28 で選択肢「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。

問 29 あなたが、低下していると思う家庭の教育力を、次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 基本的な生活習慣（挨拶、規則正しい食習慣、整理整頓など）
- 2 公共心や社会的規範（ルールを守る人、人に迷惑を掛けない、公共物を大切にするなど）
- 3 礼儀、作法、マナー
- 4 思いやりや、いたわりの心
- 5 言葉づかい
- 6 お金や物を大切にする心
- 7 根気強さ、忍耐強さ、意思の強さ
- 8 目上の人や年長の人を敬う気持ち、謙虚な気持ち
- 9 その他（具体的に： _____)

問 30 あなたが、家庭の教育力が低下していると思う原因を、次の中からいくつでもお選びください。(○は複数可)

- 1 子どもに対して、過保護、甘やかし過ぎや過干渉な親の増加
- 2 子どもに対するしつけや教育の仕方が分からない親の増加
- 3 子どもに対するしつけや教育に無関心な親の増加
- 4 子どもを親以外の大人（祖父母、近所の人など）とふれあわせる機会の不足
- 5 親子がコミュニケーションをとる時間・機会の減少
- 6 共働き家庭の増加
- 7 テレビ・インターネットなどが子どもに及ぼす悪い影響
- 8 親の存在感の低下
- 9 その他（具体的に： _____)

問 31 あなたは、地域の教育力が低下していると思いますか。
次の中から 1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 全くそのとおりだと思う
- 2 ある程度そう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 全くそう思わない
- 5 わからない



※ 問 31 で選択肢「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。

問 32 あなたが、地域の教育力が低下していると思う原因を、次の中からいくつでもお選
びください。(○は複数可)

- 1 近所の人々が、お互いに親交を深められる機会の減少
- 2 地域に対する親近感や愛着の希薄化
- 3 地域行事の減少と参加率の低下
- 4 共働き家庭の増加
- 5 親の地域活動への参加の不足
- 6 地域が安全でなくなり、子どもを他人と交流させることへの抵抗感の増加
- 7 地域の人たちの連帯感を培うリーダーの不足
- 8 地域の歴史や文化、自然について学習する機会の減少
- 9 その他(具体的に：)

7 安心して暮らし続けることのできる地域づくりについて

本道は、全国を上回るスピードで人口減少が進んでおり、地域の暮らしや経済など幅広い分野への影響が懸念されています。

今後の人口減少問題対策の参考にするため、現在お住まいの地域における生活全般などについて、皆様のご意見をおたずねします。

問 33 あなたは、現在住んでいる市町村にこれからも住みたいと思いますか。

次の中から 1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 できれば今と同じ市町村に住んでいたい
- 2 できれば道内の他の市町村へ移りたい
- 3 できれば北海道以外の所へ移りたい
- 4 よくわからない

問 34 あなたは、食料品などの日々の買い物に満足を感じていますか。

次の中から 1つだけお選びください。(○は1つ)

- 1 満足している
- 2 やや満足している
- 3 やや不便を感じている
- 4 不便を感じている
- 5 どちらともいえない

※問 35～問 37 については、結婚されている方のみお答えください。

問 35 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。

次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

1	子どもはいない	2	1人
3	2人	4	3人
5	4人	6	5人以上 (人)

問 36 あなたは、何人のお子さんを持つおつもりですか。

次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

1	子どもは持たない	2	1人
3	2人	4	3人
5	4人	6	5人以上 (人)

問 37 問 36 で選んだ「実際に持つつもりの子どもの数」が、問 35 で選んだ「理想とする子どもの数」に比べて少ない方に伺います。その理由は何ですか。

次の中から、いくつでもお選びください。(○は複数可)

また、その中で最も重要な理由を1つだけ選び◎を付けてください。(◎は1つ)

1	子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2	家が狭いから
3	自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
4	子どもがのびのび育つ環境ではないから
5	自分や夫婦の生活を大事にしたいから
6	高年齢で生むのはいやだから
7	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
8	健康上の理由から
9	ほしいけれどもできないから
10	夫または妻の家事・育児への協力が得られないから
11	夫または妻が望まないから
12	末子が夫の定年退職までに成人してほしいから
13	その他 (具体的に：)

最後に、あなたご自身のことについてお聞きします。

おたずねした結果を統計的に分析するため、あなたご自身のことについて、教えてください。
質問項目は個人の情報を特定する内容ではありませんので、ご協力願います。

I あなたの性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性

II あなたは現在、おいくつですか。

- 1 18～29 歳 2 30～39 歳 3 40～49 歳
4 50～59 歳 5 60～69 歳 6 70 歳以上

III あなたの主な職種は何ですか。

次の中から 1つだけ選んでください。(○は1つ)

- 1 自営業 (農林漁業及びその家族従事者)
2 自営業 (商工サービス業及びその家族従事者)
3 自由業 (専門的な知識や才能に基づく職業への従事者で、雇用関係から独立した職業分野(開業医、弁護士、芸術家など))
4 事務職系 (一般事務、教員、看護師、技術者など)
5 労務職系 (技能員、販売員、セールス外交員など)
6 主婦
7 学生
8 無職
9 その他 (具体的に: _____)

IV あなたのお住まいの市町村はどの地域になりますか。

次の中から 1つだけ選んでください。(○は1つ)

- 1 道央広域連携地域 (石狩振興局、空知総合振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局)
2 道南連携地域 (渡島総合振興局、檜山振興局)
3 道北連携地域 (上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局)
4 オホーツク連携地域 (オホーツク総合振興局)
5 十勝連携地域 (十勝総合振興局)
6 釧路・根室連携地域 (釧路総合振興局、根室振興局)

V あなたは、今の市町村に住むようになって何年になりますか。

次の中から 1つだけ選んでください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1 1年未満 | 2 1～5年未満 | 3 5～10年未満 |
| 4 10～20年未満 | 5 20年以上 | |

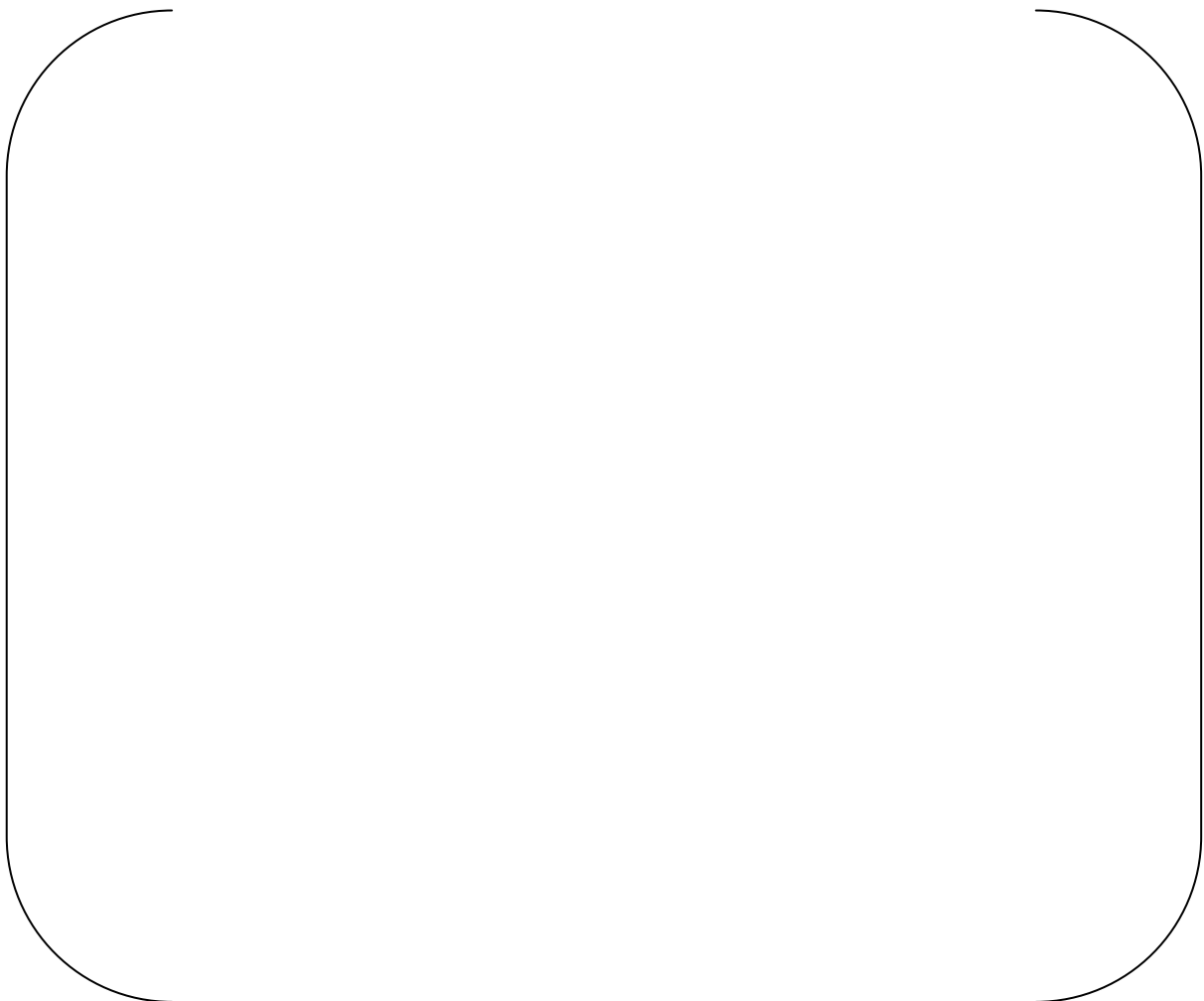
VI あなたのお住まいの地域は、次のどれにあたりますか。

次の中から 1つだけ選んでください。(○は1つ)

- | |
|--------------|
| 1 札幌市 |
| 2 人口10万人以上の市 |
| 3 人口10万人未満の市 |
| 4 町村 |

VII この調査に対するご感想、道政に対するご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

今後の参考にさせていただきます。(自由記載)



↑この線で三つ折りして
返信用封筒に入れてください

↑この線で三つ折りして
返信用封筒に入れてください

【ご協力ありがとうございました】

三つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて

8月24日（木）までに

郵便ポストに投函してください。（切手不要）